

# 令和2年度使用教科用図書 調査研究報告書

## 《小学校用教科用図書》

|         |   |      |
|---------|---|------|
| 国語      | … | P.1  |
| 書写      | … | P.5  |
| 社会・地図   | … | P.10 |
| 算数      | … | P.15 |
| 理科      | … | P.21 |
| 生活      | … | P.26 |
| 音楽      | … | P.33 |
| 図画工作    | … | P.35 |
| 家庭      | … | P.37 |
| 保健      | … | P.39 |
| 外国語〈英語〉 | … | P.44 |
| 道徳      | … | P.51 |

## 教科名（国語）

|  |   |      |      |
|--|---|------|------|
| 発行者番号  | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が学習を通して身につける言語能力の分類ごとに「言葉の力」というマークが明示され、言語の学習が順序よく着実に行える。</li> <li>・各単元の終末にあるてびきの冒頭には、単元の「問い」が示されている。言語活動としてその「問い」を解決していくことで学習のねらいが明確になるとともに学びが深まり、確かな言葉の力がつくように工夫されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の学習では同一単元で複数の教材を提示し、比べ読みができるようになっている。比較することで書き方の特徴が見分けやすくなっている。これは、「話す・聞く、書く」力の育成に効果がある。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学年の教科書に学校図書館に関する教材を設定している。活用法が各学年でわかりやすく記載されている。読書活動の充実を促す工夫がみられる。</li> <li>・他教科との関連や、今日的な教育課題の関連を取り上げて、学習者の学びに向かう力の育成にむけて工夫がなされている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」では、対話→聞く→話し合い→話す という活動ができるような単元の配列になっている。伝え合う力を培う場が設定されている。</li> <li>・様々な職業の人たちを紹介しており、兵庫県・丹波地域がすすめている「キャリア教育」（基礎的・汎用的能力）を育むのに、効果的な資料が多く見られた。</li> <li>・5・6年において、兵庫県について題材を取り上げている。ふるさと兵庫を愛する「ひょうご人として」の育成を推進することができる。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（国語）

|   |     |      |      |
|---|-----|------|------|
| 発行者番号   | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の目次の後ろに掲載されている「〇年生でつけたい力」のページでは、その学年で育てたい資質・能力を一覧でわかりやすく示し、1年間の学習内容を確認できるようになっている。つけたい力を意識しながら主体的に学習に取り組むことで、学習の成果や自己の成長を実感し、次の学びへの意欲を高めることができる。</li> <li>文字の大きさ、書体（書き文字に近いフォント）、色の区別、色使いなどのレイアウトを工夫しており、読みやすくなっている。</li> <li>2次元コードを読み取ると、教科書連動コンテンツを閲覧利用できる。</li> <li>2年生以上で「季節のたより」を設け、音読や表現活動を通して、季節を感じ、心を育てる工夫が見られる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の各学年の目標と内容をもれなく扱えるように教材が選定されているが、「話す・聞く」「読む」「書く」などの領域においても分量が十分ではない。</li> <li>説明文の後に「書くこと」の教材を設定している。説明文の書き言葉をそのまま使うことができるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読む」単元では、理解してもらいたい語彙を脚注欄に示している。また、巻末資料「言葉の部屋」では、多くの語彙を習得できるように工夫されている。語彙力の充実をはかることができる。</li> <li>プロジェクターやインターネットや電子メール等情報機器の活用についての教材を多く取り上げている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（国語）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての学年において上下巻分冊となっている。教科書の軽量化、付録の充実などにつながっている。</li> <li>• 「読むこと」の教材の主要な単元には、「単元とびら」を設け、単元末の「ふりかえろう」と対応している。単元を通した自己評価（振り返り）につなげることができる。</li> <li>• 2次元コードのある所では、学習時に参照できる資料をウェブサイトで利用することができる。</li> <li>• 1年間の学習を俯瞰できる「学びの地図」（〇年生で学ぶこと）が掲載されている。1年間を見通した学習の支援になる。</li> <li>• 要点をイラストや図表で示し、視覚的に分かりやすい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科書の単元配列においては、学年間で指導時期と領域がそろっていない。複式学級等での異学年同時間授業では指導しにくい。</li> <li>• 単元毎に「ここが大事」を設け、他教材にも活用できるような汎用性のある学習ポイントをまとめている。</li> <li>• 複数の領域を関連させて効果的に学習を図る「関連単元」と、一つの領域に集中して学習する「基本単元」をバランスよく組み合わせている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 巻末の「言葉の木」では、発達段階に沿った言葉をまとめて掲載しており、語彙指導の充実を図ることができる。</li> <li>• 「話すこと・聞くこと」では、日常生活に関連した場を設定して、伝え合う力を育むように工夫されている。</li> <li>• 本の紹介が巻末に偏っている。全体的に紹介のページが少ない。読書活動の充実を掲げている兵庫県・丹波地区においては、十分とは言えない。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（国語）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 38 | 発行者名 | 光村図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年冒頭に「国語の学びを見みわたそう」のページで、学年で育てたい資質・能力を一覧でわかりやすく示し、1年間の学習内容を確認できるようになっている。また、目次では、領域毎に分けられ、これまでの学習とのつながりが記載されている。学習のつながりや流れを意識しながら学習を進めることができる。</li> <li>・ 単元のはじめの説明は、目標や学習のつながり程度に終わっているところが多く、学習者が「何を学ぶか」を理解するには十分とは言えない。</li> <li>・ 文字の大きさ、書体（書き文字に近いフォント）、色の区別、写真等の色使いなどのレイアウトが工夫されており、判別しやすくなっている。</li> <li>・ 2年生以上の各巻末に「言葉の宝箱」をおり込みでつけている。語彙力と思考力の育成を設定している。（作文に直結した良い教材である。）</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書全体を「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成し、「知識及び・技能」の習得・活用・探求が繰り返されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学習を広げよう」で、知識の習得や身についた技能が他教科や日常生活にどのように活用できるかを示している。</li> <li>・ 「話す・聞く」では、身近な課題に取り組めるように題材を設定している。2年以上では、対話の練習が新設され様々な対話の形態を体験することができる。学校生活に必要な対話スキルを学ぶことができる。（言語活動の育成）</li> <li>・ 兵庫県・丹波地区がすすめている「キャリア教育」（基礎的・汎用的能力）を育むのに、効果的な資料があまり見られなかった。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（書写）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左利きの児童の学習しやすさを考慮して、利き手によらず教材文字が見やすいように工夫している。また、鉛筆の持ち方の説明においても、左利きの持ち方の写真が掲載されている。</li> <li>・色覚の多様性に配慮した配色及びデザインになっている。</li> <li>・一年間の学びを見通すイラストマップで児童が見通しをもてるようにされており、見通しを持つことで主体的な学びが促進できるように配慮されている。</li> <li>・書写学習がふだんの生活や他教科の学習に生かせるようにしてある。また、学年段階に応じて古典の作品も学習でき、国語科との関連や中学校への接続などの工夫がされている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、「書写のかぎ」を全学年に用いたり、3年生以上では書写のインデックスを取り入れたりして系統的・螺旋的に学習できるよう工夫している。</li> <li>・毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列することで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。</li> <li>・4年生以上では、防災に関する内容、6年生では兵庫県に関する内容として豊臣秀吉の手紙が取り上げられており、ひょうご人としてふるさとの関心を深める内容が扱ってある。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する知識・技能と、文字を正しく整えるための思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、見開きの左ページを手本、右ページを解説にあてるなど配慮している。</li> <li>・児童自らが見通しをもって学び、友達や教師との対話を通して学びを振り返ることができるように工夫することで、「主体的な学び」「対話的な学び」を実現できるように構成されている。また、学んだことを他の文字や生活の中で活用することを通して、「深い学び」を実現できるようになっている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（書写）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見本・手本が原寸大となっており、児童が練習の際に大きさに戸惑わずに練習することができる。</li> <li>・美しく書くためのポイントが細かく記載されている。</li> <li>・すべての単元の復習・まとめの単元が教科書に書き込んで確かめられる構成になっているなど、書き込み欄が充実している。</li> <li>・2次元コードがあるページがあり、動画コンテンツとつながる。</li> <li>・キャラクターが学びのポイントを端的に示してくれるので、学びの視点がわかりやすくなっている。</li> <li>・水筆シートが付属していない。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールペンやシャープペンシルなど児童が日常的に使用する筆記具が取り扱ってある。</li> <li>・文字の成り立ちや、伝統文学、多様な郵便物など実際に日常生活や学習活動に役立つ内容が豊富に掲載されている。</li> <li>・6年生では、毛筆教材において4文字の題材が多く、少し難しい内容となっている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びを意識した学習の進め方が記載されており、どの単元も、①確かめて書こう、②考えて書こう、③生かして書こう、④ふり返ろうという流れで構成してある。</li> <li>・自主的な活動やグループでの話し合い等ができるように、細かな説明をつけるなどの手立てがある。</li> <li>・学習したことをいかす活動として、ことばや文章を硬筆で書く展開となっている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（書写）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字を書く姿勢の説明は簡潔にまとめてありわかりやすいが、絵や写真がやや小さい。</li> <li>・鉛筆の持ち方を箸の持ち方と比較して説明してあり、わかりやすい。</li> <li>・書き込み枠がやや少ない。</li> <li>・まとまりのある紙面づくりとなっている。毛筆指導では、大きな筆の写真を用いるなど、カット・イラストも見やすい。</li> <li>・初めに「どのように学ぶのか」学習のめあてが明記されている。硬筆と毛筆、両方のめあてがあり、関連付けた指導がしやすい。</li> <li>・「はじめの学習」では、写真が多く使われ、内容も充実している。「よいしせい」の写真がやや小さい。</li> <li>・筆づかいについて、穂先の向きと穂先の通るところを写真や文章でわかりやすく説明されている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮し判読しやすい配色を工夫している。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の教材は、年間30～35単位時間程度で、硬筆、毛筆の学習が行えるようにしている。限られた時間数の中でも、効果的な学習効果が得られる工夫をしている。</li> <li>・書き誤りやすい文字を重点的に扱うなどの配慮が、すべての子どもへの学びやすさにつながる教材構成になっている。</li> <li>・基本点画の名称と書き方について確認できるページが、全学年に設けられている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書写学習をとおして、学習指導要領で求められている「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を柱として、主体的に学習に取り組み、課題解決を図っていけるように編集されている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（書写）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 38 | 発行者名 | 光村図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習の流れが記載してあり、子どもたちが見通しを持って学べる。</li> <li>硬筆において、書写の学びを絵日記や観察につなげてあり、実際の日常生活や学習活動に役立つ内容が取り上げてある。</li> <li>筆の動かし方がイラストでかかれてあり、児童が主体的に学ぶことができる。</li> <li>3年生の教科書では、子どもが興味関心を持ち、オノマトペシールが付属しており、毛筆の筆使いのポイントを自分で意識して学べる工夫がある。</li> <li>6年には、学習したことを日常生活で生かせるようにまとめた「書写ブック」がついている。</li> <li>各ページに2次元コードがあり、動画コンテンツとつながる。</li> <li>色覚の多様性に配慮し、図や表が明確に識別できる配色となっている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見た目も色使いもシンプルで、各ページの内容が簡潔にまとめてあり、見やすい。</li> <li>1教材1目標とし、教材で扱う要素を焦点化している。</li> <li>複雑な字が少なく、学ぶポイントが絞られた文字を選択し掲載している。</li> <li>4年間を通して、毛筆指導の時間数が他社に比べて最も多く配当されており、児童の実態に応じて選択しやすくなっている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図や表を活用し、全学年を通して姿勢や執筆をていねいに扱っている。</li> <li>毛筆を硬筆の基礎と捉え、毛筆学習の後には、硬筆の課題を設定している。</li> <li>子どもたちが主体的に学べるような工夫がある。</li> <li>自己の成長が確認できるように自己評価欄がある。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（書写）

|  |     |      |        |
|--|-----|------|--------|
| 発行者番号  | 116 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しせいともちかた」の説明は、写真も大きく、簡潔にまとめられていて、見やすくわかりやすい。</li> <li>・「筆の持ち方、用具の置き方と準備」は、写真で大きく説明してありわかりやすい。</li> <li>・各学年の主教材は、「①考える→②確かめる→③いかす」の3ステップを踏みながら、段階的に学習できるようになっている。</li> <li>・「書く姿勢の合言葉」はオノマトペを用い、リズムカルで、わかりやすい。</li> <li>・児童の興味関心を高める工夫として学習のポイントは、キャラクターによるアドバイスとなっている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達の段階や学年の特性などを考慮し、学習指導要領に示される書写の指導事項が易から難へ段階的・系統的に構成されている。</li> <li>・教材の内容や教材数は、児童の発達の段階や語彙などを考慮して精選され、年間30単位時間程度でも無理なく学習できるように配慮されている。</li> <li>・児童が書き込む欄が少ない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科の新学習指導要領に示された目標に従い、各学年の内容及び内容の取扱いに示される指導事項がまんべんなく取り上げられている。</li> <li>・基礎・基本となる「知識及び技能」が確実に身につくよう、生きて働く力が様々な学習や生活の場面で活用できるように構成されている。</li> <li>・学びの過程を通して「見方・考え方」を働かせる「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざすため、各学年の単元構成や教材内容が工夫され、児童が書写力を確実に習得して活用できるようになっている。</li> </ul> |     |      |        |

## 教科名（社会）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）を併記して、問題解決的な学習の展開を促している。</li> <li>「Dマーク」を示している箇所には、社会科学学習への興味・関心を高めることができるコンテンツがある。もくじページに掲載されたURLか2次元コードからアクセスすることができる。</li> <li>教科書の随所に掲載している「～さんの話」は、地域の人材活用を念頭に置いて構成されている。</li> <li>教科関連マークを新設し、関連する他教科の学習内容を示すようにしている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5、6年生の教科書が2冊で構成されている。</li> <li>児童に親しみのあるキャラクターを使用している。</li> <li>児童が主体的に学習できるように内容を重点化し、單元ごとに十分な学習活動を保障できるよう、適切な時数を配当している。</li> <li>学習で習得した知識を応用したり、深化させたりする際に活用できる「ひろげる」や、児童の興味・関心を高める特設教材を随所に設け、学習の広がりや深まりに対応できるようにしている。</li> <li>「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視して、習得した知識を定着させるとともに、多様な表現活動を提示し、思考力・判断力・表現力等を育成できるようにしている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災・安全、道徳教育、領土、国旗、主権者教育、伝統や文化、国際理解・グローバル教育など今日的な課題にかかわる内容を随所に取り上げている。</li> <li>さまざまな仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを「〇〇さんの話」で提示して共感的に理解させることにより、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしている。</li> <li>小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開し、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（ 社会 ）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の展開を示す「モデル図」を掲載している。</li> <li>・「問い」から展開する流れを重視している。</li> <li>・「学習計画を立てる場面」をていねいに例示している。</li> <li>・追究をふり返る場面や視点を提示している。</li> <li>・「社会的な見方・考え方」の視点や方法を例示したコーナーを特設している。</li> <li>・「社会的な見方・考え方」を働かせた学習を促す資料とその提示の仕方に特色がある。</li> <li>・ユニバーサルデザインに基づくフォントや配色を使用している。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を見通したり、追求の課程をふり返ったりすることを児童に意識づける意図から、問題解決的な学習の進め方を見通すモデル図を巻頭に掲載しているほか、学習計画を立てる場面を丁寧に例示したり、前の学年で進めてきた追究をふり返りながら当該学年の学習を見通す場面や当該学年の学習をふり返る場面を設けたりするなど、工夫されている。</li> <li>・学習問題の立て方、学習計画の立て方、情報の集め方、資料の読み方、学習の整理の仕方、表現活動の仕方などの学習技能について解説した「学びのてびき」コーナーが適宜置かれていて、どのようにして学べばよいのかをとらえやすくする工夫がされている。</li> <li>・児童同士の対話的な学習や、社会の様々な人々から話を聴き取る対話的な学習が多様に位置づけられており、それらを参考にしながら多角的に理解したり考えを深めたりしながら学ぶことができるようにされている。分量的にも適切である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いに準拠した、適切な事象・事例に基づいた教材が掲載されている。特に、社会の変化や今日的課題が反映された事象が積極的に教材化されているとともに、そうした変化や課題に自ら対応する資質・能力を育成するという視点から、問題解決的な学習が基調とされている。各学年の単元構成も、主体的な学びを中心にインクルーシブ等、基本的に学習指導要領、市教育振興計画をふまえた内容である。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（ 社会 ）

|   |       |      |        |
|---|-------|------|--------|
| 発行者番号   | 1 1 6 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科の学習にとって重要な用語は「キーワード」で示され、本文中で対応する箇所の文字はゴシック体で示されている。</li> <li>・ 資料の読み取りや、本文と資料を関連させながら紙面がレイアウトされている。</li> <li>・ 社会的事象への興味・関心がもちにくい場合でも、社会の営みと身近な生活がつながっていることが実感できるよう、具体的な活動場面の写真や作業が示唆されている。</li> <li>・ 学習問題への気づきが難しい場合でも、社会的事象を読み取りやすいよう、写真などの資料が工夫されている。また、児童の多様な疑問や予想を話し合う交流が工夫されている。</li> <li>・ 情報収集や考察・まとめに対する指導のくふうと手だてとして、情報収集の仕方が「学び方・調べ方コーナー」で詳細に示されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年を通して、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断できるよう、社会への関わり方を多角的に考えることに配慮されている。</li> <li>・ 読み取りやすいように本文の役割を「学習活動」「友だちの発言」「学習内容」の三つに分けて示している。</li> <li>・ 児童の思考の流れを重視した組織・配列になっている。児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程がわかりやすく配列されている。</li> <li>・ 学習内容についての情報や資料、追究過程を原則見開きページにまとめられ、コンパクトに配分されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容、内容の取扱いなどをふまえて、児童の発達の段階と興味・関心を考慮し、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。</li> </ul> |       |      |        |

## 教科名（社会〈地図〉）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生から6年生までの使用に耐えるよう、しっかりした製本、折り込み部分の強化をしている。</li> <li>・ 多彩なキャラクターが登場と一緒に学習する紙面になっている。</li> <li>・ だれにとっても見やすく、読み取りやすい地図になっている。</li> <li>・ 児童の目線を重視し、興味・関心が広がる地図になっている。</li> <li>・ 特に巻頭巻末に写真資料を多く掲載し、より実感的に学習できる。</li> <li>・ 海底地形が掲載されているほかに大陸プレートの記載もあり、地震や津波の災害に遭いやすい日本の地形の特色がよくわかる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生に地図の仕組みと約束ごとが分かるように、鳥瞰図→真上からの図→地図という視点の展開をしている。</li> <li>・ 3年生の「学校のまわり」～「市の様子」を学習する内容が、授業の流れにも合っている。</li> <li>・ 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉える「社会的な見方・考え方」の基盤となる空間認識を広げ、また、地図から現実世界を想像する力を身につけられるようにしている。</li> <li>・ 世界全図のページには、すべての国の国旗を掲載している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の領土と周辺諸国に関する内容を充実させ、また「海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成」がしっかりわかるよう、すべての地図において海洋部分も詳細に描写している。</li> <li>・ 我が国の歴史や伝統・文化に関する内容を充実させている。</li> <li>・ 日本と世界の一般図に続く、資料地図のページでは、テーマの資料図を大きく表現し、読み取りやすく、学習のねらいを明確にして児童が理解しやすいようにしている。</li> <li>・ 奈良、京都の歴史的建造物の資料が豊富で、歴史学習にも活用できる。</li> <li>・ アフリカ、オセアニア地域も他地域と同じように記載されている。</li> <li>・ 世界遺産に登録されている自然遺産、文化遺産が写真で紹介されている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（社会〈地図〉）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 46 | 発行者名 | 帝国書院 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地図では、地域の特色ある人々のくらしのようすや産業が読み取れるように、土地の高さによる色分け（等高段彩表現）と、土地の使われ方による色分け（土地利用表現）を組み合わせた地図表現にしている。</li> <li>地形の起伏を捉えやすくするように、土地の高さによる色分け（等高段彩表現）と手描きによる陰影表現（レリーフ）を組み合わせた立体感のある地図表現にしている。</li> <li>学習上大切な都道府県名や国名、都道府県庁所在地名や首都名など重要地名の文字は、太く大きくして読みやすくしている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生からの使用に対応し、初めて地図帳を手にする児童がつまづかないように、地図の成り立ち、方位、地図記号、距離の求め方、索引の使い方、縮尺などを、巻頭で12ページにわたってわかりやすく解説している。</li> <li>児童が主体的に地図を活用できるように、自学自習ができる問い「地図マスターへの道」を設けている。問いに答えていくことで、達成感を得ながら地図活用の技能や「社会的な見方・考え方」を身につけられる。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>47都道府県の名称と位置を習得できるページ「都道府県の名前と位置」を設けている。</li> <li>四方を海に囲まれた島国で、南北に長い日本列島の特徴が視覚的にイメージできる地図「日本をながめてみよう」を設置している。また、地震や火山活動との因果関係が考えられるように、海底地形のようすを再現している。</li> <li>特に日本と関係の深いアメリカについて詳しく学べる。</li> <li>日本列島全図に、尖閣諸島と竹島が写真入りで載せられている。（領土のページ）</li> <li>インクルーシブ教育に配慮している。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（算数）

|  |   |      |      |
|--|---|------|------|
| 発行者番号  | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話を通して、日常事象や生活経験を話題として学習意欲を高めたり、既習内容を整理し振り返ったりして単元の導入がされている。</li> <li>・数学的な見方・考え方に関わる場所にマークをつけ、強調している。</li> <li>・6年は1冊、他学年は2冊。1年上はA4判。他はB5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前後の学年の内容も視野に入れ、児童の発達段階、単元の相互の関連や領域のバランス、学習効率、指導の時期などを考慮して、配列されている。</li> <li>・発展的な学習内容が多く用意されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめにおいて、その学習過程で使った数学的な見方・考え方の価値づけ、発展的に考えたりする学習展開に工夫している。</li> <li>・兵庫県に関する内容は、4年生(1)、6年生(2)で扱っている。</li> <li>・防災に関する内容は、4年生(1)で扱っている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、4年生(2)、6年生(1)で扱われている。</li> <li>・プログラミング的思考については、5年生(1)、6年生(1)で扱われている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（算数）

|  |   |      |       |
|--|---|------|-------|
| 発行者番号  | 4 | 発行者名 | 大日本図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を右ページに配置し、解決法をめくったページに配置する箇所を多く取り入れ、主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>・全学年1冊で編成。B5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携、発達段階、学習の時期等を考慮して単元が配列されている。</li> <li>・補足的な学習内容の分量が最も少ない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容について図などを使ってまとめたり、知識技能をくりかえし振り返ったりすることができるようにしている。</li> <li>・兵庫県に関する内容は無い。</li> <li>・防災に関する内容は、6年生(2)で扱っている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、1年生(1)、3年生(1)、4年生(1)、5年生(3)、6年生(2)で扱っている。</li> <li>・プログラミング的思考については、全学年（6年生は2つ）で扱っている。</li> </ul> |   |      |       |

## 教科名（算数）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～したいな」というマークで、子どもたちの思考・活動を示している。</li> <li>・見方・考え方を9つにまとめ、9体のモンスターとして表している。</li> <li>・6年生は1冊。（中学校への架け橋あり。）他学年は2冊。横幅が、A4判の幅、高さはB5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を活用する場を工夫し、系統的・発展的に配置されている。</li> <li>・補足的な内容、発展的な内容とも、平均的な量である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の場面を算数の目で捉える場面を取り上げ、新しい課題に主体的に取り組みやすくなっている。</li> <li>・兵庫県に関する内容は、3年生(2)、6年生(1)で扱われている。</li> <li>・防災に関する内容は、3年生(1)で扱われている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、3年生(1)で扱われている。</li> <li>・プログラミング的思考については、全学年（1つずつ）で扱われている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（算数）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決の過程を子どもの「問い」の連続で学習を進めるように工夫している。</li> <li>・デジタル教材があるところには「まなびリンク」のマークが設定されている。</li> <li>・1・5・6年生は1冊、他の学年は2冊。B5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や見方・考え方を関連づけて配列されている。</li> <li>・発展的な内容、補完的な内容とも平均的な分量である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの問いの連続によって数学的活動を進め、主体的に学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・兵庫県に関する内容はない。</li> <li>・防災に関する内容は、3年生(1)で扱われている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、3年生(2)、4年生(2)、5年生(2)、6年生(2)で扱われている。</li> <li>・プログラミングについては、5年生(1)で扱われている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（算数）

|   |     |      |     |
|---|-----|------|-----|
| 発行者番号   | 6 1 | 発行者名 | 啓林館 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項や日常の身近な問題から学びをつないでいく単元のとびらになっている。</li> <li>・めあてをすべての時間に例示し、めあてにつながる考えや気づきをマークで表している。</li> <li>・2次元コードが関連個所に掲載され、タブレット等ですぐに活用しやすい。</li> <li>・1・5・6年生は1冊。他は2冊。B5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や季節なども考慮された配列になっている。</li> <li>・補足的な学習内容は、最も多く用意されている。</li> <li>・補充問題は2段階の問題設定で習熟度別学習に対応できる。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が問題意識をもって主体的に算数に取り組めるように、日常から問題を見出すなどの数学的活動が積極的に取り入れられている。</li> <li>・児童の思考と学習展開に大きな隔たりが生じないようにスモールステップの展開になっている。</li> <li>・兵庫県に関する内容は、4年生(1)、5年生(2)、6年生(1)で扱われている。</li> <li>・防災に関する内容は、5年生(2)で扱われている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、3年生(1)、6年生(1)で扱われている。</li> <li>・プログラミング的思考については、1年生(1)、2年生(1)、5年生(1)、6年生(1)で扱われている。</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（算数）

|  |       |      |        |
|--|-------|------|--------|
| 発行者番号  | 1 1 6 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分で、みんなで考え、話し合い、答えを出すまでをイラストにして示し、主体的・対話的で、深い学びにつながるようになっている。</li> <li>・問題解決の過程を示した「学び方ガイド」をつけて、どの学習場面でも活用できるようにしている。</li> <li>・6年生は1冊。他学年は2冊。B5判。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は単元を分散的に配置し、同じ内容が続かないようにし、高学年は関連する内容をまとめた配列になっている。</li> <li>・補充的な学習内容は、平均的な分量である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的基本的な内容の意味理解に重点を置いた展開であり、定着のため繰り返し練習することができる。</li> <li>・兵庫県に関する内容は、5年生(1)、6年生(3)で扱われている。</li> <li>・防災に関する内容は、3年生(1)、5年生(1)、6年生(2)で扱われている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについては、4年生(1)、6年生(1)で扱われている。</li> <li>・プログラミング的思考については、5年生(1)で扱われている。</li> </ul> |       |      |        |

## 教科名（理科）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が知的好奇心や探究心を持てるものになっている。裏表紙には目次が掲載されていて内容が見付けやすい。</li> <li>学ぶ単元の導入が漫画を使い履修内容や疑問について示されていてわかりやすく感じるが、写真などを使って視覚的に考えさせにくい。</li> <li>問題、実験観察、まとめの流れがわかりやすく、「観察・実験」と「結果」「まとめ」が同じ見開きページで構成されていないので考えやすい。</li> <li>「実験・観察」の後に「考察しよう」があり、結果が考えやすい配列になっている。また、キャラクターで児童や先生が登場し、教科書の中で会話があり、考えやすい構成になっている。</li> <li>文字の大きさに工夫が見られ、読みやすい。また、大切な用語には太線が引かれ、ルビが振られていて、わかりやすい。</li> <li>A4判で大きく見やすい。</li> <li>各ページで配色が統一されており、赤は「きけん」黄色は「理科のミカタ」「学んだことを使おう」青は「たしかめよう」など内容によって統一してあり、見やすく学習が進めやすくなっている。</li> <li>全学年の巻末に児童の興味を引く教材が付録としてついている。</li> <li>学びの有用感を感じさせ、生活との関連や振り返りを重視した問いかけがある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりの内容の事例数が5社の中で一番少ない。</li> <li>内容の分量はゆとりを持って学習が進められる分量である。</li> <li>6年「水溶液」では、唯一水酸化ナトリウム水溶液の取り扱いがない。</li> <li>4年は生き物が通年でなく、年度末にまとめてある。また、5年は天気が年度当初にある。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな職業に就かれている方からのメッセージが記載されていて、キャリア教育が進めやすい。</li> <li>領域や学年ごとに新学習指導要領で取り上げている見方、考え方を促す働きかけがある。</li> <li>プログラミング体験関連ページは、4ページある。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（理科）

|  |   |      |       |
|--|---|------|-------|
| 発行者番号  | 4 | 発行者名 | 大日本図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙は当該学年の学習教材や教具、裏表紙は美しい日本の自然の写真を掲載し、児童が理科へのワクワク感を膨らませる工夫がある。しかし、教科書内の写真の使い方には驚きや興味を引くものが少なく、写真自体も小さい。</li> <li>「問題」「予想」「実験」が同一の見開きにあり、「結果」「考察」「結論」が次の見開きになっていて考えやすい配列になっている。また、学習の流れが各ページに大きく表示されており、ノートと連動しやすい。</li> <li>黄色で統一されたページには「実験・観察」「結果」や紫色で統一されたページには「確かめよう」「学んだことを生かそう」「資料」等が掲載されておりわかりやすい。ただ、「確かめよう」の問題が説明中心で、解くためには深い理解が必要になる。</li> <li>教科書の中で架空の児童が考え考察している状況を掲載していて、考えやすい。</li> <li>学年ごとに育成したい問題解決能力を示し、その力を育成する場所にマークを付けている。</li> <li>他教科や中学校とのつながりをわかりやすく示されている。</li> <li>アニメキャラクターのような人物のイラストが大きく目につく。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての学年で防災に関する内容を取り上げている。</li> <li>ものづくりの内容の事例数が多い。</li> <li>キャリア教育の育成を意識した内容が少し弱い。</li> <li>4年は雨水のゆくえが2学期に、季節と生き物が通年ある。また、5年は天気と情報が1学期にある。</li> <li>「実験・観察」のページに準備物の記載がない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング教育、ESD、キャリア教育、防災等の課題教育が学習できる箇所に記号を入れ、取り組みやすくしている。</li> <li>兵庫県、丹波地区を取り上げた内容が少ない。</li> <li>防災教育やキャリア教育などの課題教育を育むのに効果的な資料が少ない。</li> </ul> |   |      |       |

## 教科名（理科）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙に科学者が掲載されており、本文のリード役として4人の科学者が登場する。科学者の伝記や言葉を紹介することで科学者としての芽を育てようとする意図が感じられる。</li> <li>・すべての単元のページに教科書に記載されている単元が書かれていて調べやすい。</li> <li>・実験・観察の時の注意が色を変えわかりやすく表示されており、安全に配慮された教科書である。</li> <li>・学習を展開する際「見方・考え方」を働かせる視点が明確に示され、学習の焦点化がされている。しかし、実験・観察の進め方が太字にはなっているがわかりにくく、「実験・観察」と「結果」が同じ見開きにあり、扱いにくい。</li> <li>・単元末に知識の定着を確認するページ「まとめてみよう」に加え、「やってみよう」「作ってみよう」等、活用ページが充実している。</li> <li>・単元の終わりにはまとめてみようという適応問題が掲載されている。</li> <li>・統一されたマークや記号を利用して学習が進めやすく考えられている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、「資質・能力」が効果的に育成できるように単元配列がされている。</li> <li>・地域の気象条件による植物の成長の違いにも配慮されている。</li> <li>・日常生活との関連を図る事例が多い。</li> <li>・3年はかげと太陽が1学期、光が2学期に配列されていたり、4年の生き物の配列が通年でなかったりしている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育、キャリア教育等課題教育に対応した教科書になっているが兵庫県や丹波地区に特化したものがない。</li> <li>・問題解決的学習の過程を脚注に掲載し、各ページの学びの過程が一目でわかるようになっている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（理科）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏表紙に理科の安全の手引きが掲載されていて見やすい。</li> <li>・前学年の履修内容の記載がある。また、単元の最初のページに「思い出そう」と記し、前の学習の振り返りができるページに構成されている。単元末の「たしかめ」、巻末に「1年間の学習」があり学習の振り返りができる。</li> <li>・「見つけよう」→「問題」「予想」「計画」→「実験・観察」→「結果」→「結論」と「実験・観察」の流れがわかりやすい。また「結果」が別ページに記載されておりわかりやすい。</li> <li>・コラムの数も多く発展的な学習が進めやすい。</li> <li>・実験・観察後ノートの手取り方が記載されている。</li> <li>・重要な言葉を太字にしてマーカーで色を塗ってわかりやすくしている。</li> <li>・先生や児童を教科書の中に登場させることによって授業風景を創り出し、教科書の中の児童が問題解決していくストーリー型を取っていてわかりやすくしているが、登場するキャラクターに名前があり、指導者にとって覚えるのは負担である。また、たまに紹介されていない児童が登場する場合もある。</li> <li>・教科書のサイズが縦に伸び、全体的にすっきりした印象で読みやすく感じる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する内容が5，6年でしか取り上げられていない。</li> <li>・どの学年も他社に比べてページ数が多い。（情報量が多い）</li> <li>・巻末に〇〇図鑑と題した各学年のテーマに準じた資料があり、児童の興味を喚起するコーナーとなっている。</li> <li>・6年生にものづくりの事例がない。また、月と太陽の単元が2学期後半になっている。</li> <li>・3年ではかげと太陽が1学期に、光は2学期にある。（他の教科書はすべて2学期に連続している）</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「メッセージ」の欄で理科の学習をしてきたことで職業に就かれている方からの話があるがキャリア教育の面で理科を学ぶ意義を深めることがしにくい。</li> <li>・プログラミング教育を進めるに当たって内容が少ない。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（理科）

|   |     |      |     |
|---|-----|------|-----|
| 発行者番号   | 6 1 | 発行者名 | 啓林館 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙や本文中に2次元コードが多く掲載されており、教科書の説明や内容を確認することができる。また、これにより児童自らが学ぶための資料となり、反転授業の可能性もある。</li> <li>問題解決の過程が課題提示から考察、結論までの流れが分かりやすく表示されている。特に予想や計画、考察の場面では「理科の見方・考え方」を働かせながら対話的な学びができるよう構成されている。また、実験・観察の進め方がわかりやすく、安全に配慮したマークがあり、安全に実験・観察が進められるよう配慮されている。</li> <li>他教科や中学校とのつながりがわかりやすく示されている。</li> <li>写真が綺麗で使われ方が学習に興味を引く内容になっている。また、文字の大きさを工夫して、見やすく読みやすい。</li> <li>児童が野外観察をする際に活用できる切り取り教材が巻末に付録としてついている（4年以外）。</li> <li>単元末にノートにまとめた形式でふりかえりができ、児童が使いやすい。また、児童の自主学習の参考になる。</li> <li>単元の中の構成がしっかりしていて、学習のつながりがわかりやすい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての学年で兵庫県や丹波地区に関する内容を取り上げている。</li> <li>プログラミング的思考に関する内容を全学年で取り上げている。</li> <li>単元末の知識の定着を確認する「たしかめよう」の分量は単元によっては少ない場合もあるが、「活用しよう」や生活との関連「つなげよう」が配置されている。</li> <li>巻末は、目次つきで、算数科との関連、ものづくりなど整理されており活用しやすい。</li> <li>3年は「かげと太陽」が2学期に連続してある。また、4年は通年で「生き物」が掲載されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング的思考に関する内容が全学年で取り入れられている。</li> <li>環境教育、キャリア教育など今日的な課題にも多くの単元で考えられるよう取り上げている。</li> <li>高学年の理科の内容、及び防災の視点で兵庫県の写真が多く使用されている。（ふりこのきまり：明石海峡大橋、大地のつくりと変化：丹波竜、阪神・淡路大震災）</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（生活）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すたあとぶっく」により、学校生活への円滑な適応が図られるよう工夫されている</li> <li>・ユニバーサルデザインフォント及びカラーが使用されており見やすい。</li> <li>・保護者向けのメッセージが随所に挿入されている。</li> <li>・「かつどうべんりてちょう」は内容が豊富で、児童にもわかりやすい内容である。</li> <li>・「ポケットずかん」では本当の大きさを示されているが、実際のフィールドに持ち出して使用する機会は少ない。また、取り上げる植物の種類については多いほうが使いやすい。</li> <li>・サイズが大きく見やすいが、1年生にとっては必ずしも扱いやすいといえない。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校と生活」「家庭と生活」「地域と家庭」の内容が、上下それぞれに掲載されるのではなく、上下を通して学べる配列となっている。</li> <li>・「生活や出来事の伝え合い」の扱いが少ない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点からの教師の言葉がけや板書例などが示されている。</li> <li>・取り扱う内容量のばらつきが大きい。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（生活）

|   |   |      |       |
|---|---|------|-------|
| 発行者番号   | 4 | 発行者名 | 大日本図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字は読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> <li>・毎時のめあてがわかりやすく提示されている。</li> <li>・教科書を切り取るなどの作業は児童の興味関心をかきたてる面はあるが、1・2年児童には難しい場合もある。</li> <li>・「がくしゅうどうぐばこ」のページがあるが、図表や写真が小さく、文字情報が多いため、内容が読み取りにくい。</li> <li>・全体的に文字情報が多く、特に視覚支援の必要な児童等にとっては学習の流れが読み取りにくい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の内容が、上下それぞれにすべて掲載されている。</li> <li>・自分自身の生活や成長に関する内容が充実している。</li> <li>・上では単元構成が季節に沿っているが、内容のつながりという意味で分かりにくい。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化やふるさとに関する内容が少なく、丹波地域の実態に合っていない。</li> </ul> |   |      |       |

## 教科名（生活）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次ページで年間を見通した単元配置がチャート形式で示されており読み取りやすい。</li> <li>「どきどき」→「いきいき」→「ふむふむ」→「にこにこ」と単元の段階が分かりやすく提示されている。</li> <li>「学び方図かん」のページでは、活動における安全面の注意点などを単元と関連づけて掲載してあるとさらに使いやすい。</li> <li>人物のイラストのセリフが多く書かれており、かえって児童自らの対話が広がりにくい面がある。</li> <li>実際の児童自身の活動と掲載されている活動の様子の写真から、活動への意欲につなげにくい面がある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の内容のうち、「学校と生活」「地域と生活」が上下それぞれの教科書に掲載されるのではなく、上下を通して学べる内容となっている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭及び地域の生活に関する内容が十分でなく、また兵庫県や丹波地域に関連のある記述等も少ない。</li> <li>「あんぜんのぺえじ」で扱う防災に関する記載があるが、地震、雷、火事、大雨のみで、内容が十分とは言えない。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（生活）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びを深めるための「ひんと」や活動における安全面での「やくそく」などが、ページ内にわかりやすく提示されている。</li> <li>・ 活動がイメージしやすい写真例が多く掲載されており、視覚的に理解しやすい。</li> <li>・ 様々な思考ツールを活用した板書例が提示され、教師自身が学びを整理する手がかりとなる記述も多い。</li> <li>・ 単元の終わりに自己評価を促す工夫が施されており、学ぶ意欲をはぐくみやすい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校と生活」「家庭と生活」「地域と生活」の内容が上下それぞれに掲載されるのではなく、上下を通して学べる配列となっている。</li> <li>・ 「家庭と生活」の取り扱いが比較的少ない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラミング的思考に関する内容の取り扱いが多い。</li> <li>・ 主体的な気づきを促す言葉がけが多く記載されている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（生活）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 38 | 発行者名 | 光村図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に文字情報が少なく、視覚的で受け入れやすい。</li> <li>・「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」を生かした学びを深める構成に仕上がっている。</li> <li>・写真で見たいところがイラストであったり、イラストでいいところが写真だったりする。</li> <li>・全体的にイラストが多く、生き物の写真が比較的少ない。</li> <li>・手書き風フォントはソフトな印象であるが、支援を要する児童にとっては読みづらい面もある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がワクワクするような遊びを発展させる内容が少ない。</li> <li>・「公共物や公共施設の利用」を取り扱う内容が少ない。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化やふるさとに関する内容の取り扱いが少なく、兵庫県や丹波地域に関する記述も少ない。</li> <li>・学校、家庭及び地域の生活に関する内容が少ない。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（生活）

|  |     |      |     |
|--|-----|------|-----|
| 発行者番号  | 6 1 | 発行者名 | 啓林館 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の思考が、次の活動に主体的につながりやすくなるように、レイアウトが工夫されている。</li> <li>・「がくしゅうずかん」に学習のヒントがわかりやすくまとめて掲載されているが、教科書のページを行き来する使い方になる。</li> <li>・「すたあとぶっく」のページの角を丸めるなどの扱いやすさの工夫がみられるが、文字による情報が比較的多く、視覚的にワクワクする工夫が少ない。</li> <li>・全体的に写真やイラストに付された文字情報が多く、支援を要する児童にとっては主体的に読み取りにくい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の内容が上下それぞれにすべて掲載されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭及び地域の生活に関する内容が豊富である。</li> <li>・地域に関する取り扱いが「祭り」だけである。</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（生活）

|  |     |      |        |
|--|-----|------|--------|
| 発行者番号  | 116 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちえとわざのたからばこ」やポケット図鑑を配し、使いやすくまとめている。</li> <li>・板書例や学習の様子イラストなど、学びが深まる提示がある。</li> <li>・すべての漢字にふりがなが付されており、学習が困難な児童にも読みやすい。</li> <li>・ページを折って使う立体のしかけが施してあるが、支援を要する児童にとっては扱いにくい点もある。</li> <li>・全体的に写真が小さく、児童の表情が読みづらい。また、文字による情報が多いため、直感的なにつながりにくい。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の内容が上下それぞれにすべて掲載されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成すべき3つの資質・能力が、小單元ごとに示されている。</li> </ul> |     |      |        |

## 教科名（音楽）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の例や挿絵を用いた説明、見開きの大きな写真など、学習を進める上で大切な言葉や記号をつかみ、曲のイメージをもちやすい工夫がある。特に多くのページで「音楽のもと」が表記され、気づきを書き込んで使うコーナーは、児童・指導者が自然に学習と関連して身につけられる。</li> <li>・見通しをもって学習を進められるように、学習目標や活動例が示されている。</li> <li>・学習をサポートするコンテンツ「まなびリンク」がICT機器で閲覧できる。</li> <li>・各学年に「音楽作り」等のコーナーがあり、系統的に学習を積み重ねることができる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の導入（鍵盤ハーモニカ・リコーダー）が、いずれも8ページで構成され統一感がある。</li> <li>・題材が系統性と発展性をもって組織され、そのつながりを意識させる構成である。</li> <li>・分量については、巻末に曲集があり、教科横断的な教材が配置されている。特に高学年は曲数が多いが、全学年に全校合唱曲があるのは、特徴的で提案性がある。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化を感じ取れるよう、写真資料やコラム等の関連資料が示されている。</li> <li>・「まなびリンク」では、鑑賞曲の紹介や教材のことだけでなく、作詞・作曲者のメッセージや歌う姿等も見ることができ、主体的な調べ活動が期待できる。</li> <li>・主体的な学びを引き出し、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を進められるように、具体的な活動例や学習の目標などが示されている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（音楽）

|  |    |      |       |
|--|----|------|-------|
| 発行者番号  | 27 | 発行者名 | 教育芸術社 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間の見通しをもって学習を進められるように、教科書のはじめの見開きに4つの領域に分けた学習内容や活動言葉と絵で示されている。それが、学年ごとに取り扱う楽器が増えたり、入学から中学校進学をイメージする地図があったり、「まなびの木」が育つ姿があり、児童には、音楽の学習の活動や意味を学ぶのに役立てられる。</li> <li>・ 学習を進める上で大切な言葉や楽譜などの情報に注目できるように、キャラクター等が吹き出しでヒントを示す表現方法がとられ、児童の気づきを誘っている。また、落ち着いた色調と統一感のあるイラスト・レイアウトである。</li> <li>・ 学習をサポートするコンテンツが、教科書の2次元コード読み取りにより ICT 機器で閲覧できる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「つながる（つなぐ）」をキーワードに、育てたい事柄を整理して単元や題材に盛り込まれている。</li> <li>・ 題材が系統性と発展性をもって組織され、そのつながりを意識して指導できる工夫がある。</li> <li>・ 補助教材の分量は多くはないが、授業時数の観点から考えると題材で扱う曲数は適当である。</li> <li>・ 各学年のはじめに歌唱曲があり、クラスソング的な扱いが可能である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化を感じ取れるよう、写真資料やコラム等の関連資料が示され、調べ活動のヒントなども載っている。伝統文化だけでなく、例えば共通教材に関するコラム（新茶の話・インタビューなど）や卒業式の歌に込める思いを記入する欄、はじめの見開きページの1年間の音楽の学習の見通しの絵など、教科書が「つながる（つなぐ）」をキーワードに作られたことが随所に感じられる。</li> <li>・ 教科書の最後にふり返りのページがあり、学習したことを確かめたり振り返ったりできる。</li> <li>・ 主体的な学びを引き出し、さらに「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を進められるように、具体的な活動例や学習の目標が示され、キャラクターの吹き出しによって説明ではないヒントが示されている。</li> </ul> |    |      |       |

## 教科名（ 図画工作 ）

|  |   |      |     |
|--|---|------|-----|
| 発行者番号  | 9 | 発行者名 | 開隆堂 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ページの中に余白があり、レイアウトがすっきりしている。ポイントがわかりやすい。</li> <li>・ ページ数が少なくまとまっている。(他社より約10ページ少ない)</li> <li>・ 子どもの活動写真が多く入っていて、生き生きとした楽しそうな活動が紹介されている。</li> <li>・ 見開き構成の左上に、学習で使用する材料が図示されていて、一目でわかる工夫がされている。</li> <li>・ 2次元コードで、紙面掲載以外の児童作品を紹介できるので、タブレット等で読み込める場合は、大変便利である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目次が見開き、写真入りで構成されており、1年間の見通しを持たせやすい。</li> <li>・ 「絵や立体」の単元では、アイデアの広げ方コーナーを設置し、興味関心・意欲を高める工夫がされている。</li> <li>・ 鑑賞では、諸外国の美術作品・立体・平面作品など、幅広いジャンルから紹介している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の「めあて」と「ふりかえり」を明記し、主体的・対話的で深い学びにつながるようになっている。</li> <li>・ 他教科との関連は、「あわせて学ぼう」を設定し、教科名を明示することで、教科等横断的な視点を入れている。</li> <li>・ 2次元コードがついており、図画工作で使う言葉の英単語を音声で聴くことができる。タブレット等で読み込める場合は、大変便利である。</li> <li>・ 幼稚園や中学校とのつながりや教科横断的な視点での内容が示されている。</li> <li>・ プログラミング的思考の関する内容が「5・6年上下」に入っている。</li> <li>・ オリンピック・パラリンピックに関する内容が、「5・6年上」に入っている。</li> </ul> |   |      |     |

## 教科名（ 図画工作 ）

|  |       |      |        |
|--|-------|------|--------|
| 発行者番号  | 1 1 6 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由度があり、指導において試行錯誤させやすい。</li> <li>・他社に比べてページ数が多く、作品の紹介が大きくて見やすい。また、字体もやわらかい。</li> <li>・子どもの活動写真が多く入っていて、生き生きとした楽しそうな活動が紹介されている。また、写真が連続していて、制作の見通しが立てやすい。さらに、写真がきれいで見やすい。</li> <li>・材料と用具の使い方の説明がわかりやすく、児童の主體的な学びに活用できる。</li> <li>・見開き構成の右下に、「きをつけよう」「かたづけ」がレイアウトされており、安全面の意識が自然とできる工夫がなされている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙を開けると、児童が意欲的に学習に取り組む写真が使われていて、興味を引きやすい。</li> <li>・目次のページに作品の写真が入っていてわかりやすい。</li> <li>・題材名が見やすく、興味の湧く工夫がされている。</li> <li>・題材の冒頭に「学習のめあて」が黒板表示の形で示されていて、見やすくわかりやすい。</li> <li>・「3・4年上」と「5・6年上」に兵庫県の素材が取り上げられている。</li> <li>・「5・6年上」では、「仙台・神戸子ども絵画交流展」が掲載される等、防災に関する内容が取り上げられている。</li> <li>・用具の使い方が詳しく説明されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながり ひろがり」のページでは、作品を通して周りの人や地域とのつながりに目を向けさせる工夫がされている。</li> <li>・目次の下に、「保護者の方へ」のコーナーがあり、家庭との連携も意識している。</li> <li>・自然の素材を生かした単元が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容となっている。</li> <li>・共通事項を視点に、対話している写真を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるようにしている。また、児童のつぶやきの吹き出しも、数多く掲載されていて、主体的な学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>・幼稚園や中学校とのつながりや教科横断的な視点での内容が示されている。</li> <li>・道徳との関連が深い材料には、道徳マークを提示し、関連付けが視覚的にわかるようになっている。</li> <li>・プログラミング的思考に関する内容が「5・6年上」に入っている。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックに関する内容が、「3・4年下」に入っている。</li> </ul> |       |      |        |

## 教科名（ 家庭 ）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大題材ごとに学習の流れを「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで提示し、ステップごとにタイトル下に学習のめあてを示している。</li> <li>・各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習がすすめられるようにしている。その視点を働かせながら、各所に収載されている活動を行うことで、深い学びを実現できるようにしている。</li> <li>・学習したことを自己評価し、自己の成長を感じられるように「成長の記録」「5年生のまとめ」「2年間のまとめ」で学習のふり返りの場面を設けている。</li> <li>・思考力の伸長、知識・技能の定着のためのデジタルコンテンツを活用した学習ができる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の学習の見通しが立てられるようなガイダンスが設置されている。</li> <li>・巻末に必要な時にいつでも基礎基本が確認できるよう実物大の作業場面の写真が豊富に掲載されている。</li> <li>・各学年の最後に「まとめ」のページが設定されるなど、中学校での学習のつながりを考慮した内容配列となっている。</li> <li>・「消費生活・環境」については、家庭科全体に必要な視点であるので、5年生の早い段階で取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>・学習したことを生かして、家庭や地域の生活の課題解決のための実践が「生活を変えるチャンス」として設定されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小題材のはじめに「学習のめあて」、終わりに「振り返ろう」があり、こまめに学習を振り返り学習内容の定着が図られるようになっている。</li> <li>・児童の思考力・判断力・表現力が育成されるよう、小題材ごとに「活動」が入っている。大題材の最後には「活動深めよう」によって、学びを総合的に生活に生かせるようにしている。</li> <li>・兵庫県に関しては神戸市の広域避難場所の表示板の写真が掲載されている。</li> <li>・防災に関する内容については、地域・家族の一員として災害時にどのように行動するか等、衣食住の観点から詳しく掲載されている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（ 家庭 ）

|   |   |      |     |
|---|---|------|-----|
| 発行者番号   | 9 | 発行者名 | 開隆堂 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大題材ごとに学習の進め方を「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」という3ステップで提示し、単元名の下に3ステップとそれにあわせた学習のめあてを示している。</li> <li>・実践的、体験的活動を通して、話し合い活動や思考する活動、意見を述べる活動など、さまざまな言語活動ができるようそれぞれの題材に配置されている。</li> <li>・体験活動ごとに、技能をチェックする欄がある。</li> <li>・各題材の導入がフォトランゲージで始まり、子どもたちが興味関心を持って様々なことに気づいたり、課題を見つれたり、対話したりすることにより深い学びにつながる。</li> <li>・2次元コードを読み取ると、タブレット端末やパソコンで動画等の資料を見たり操作したりすることができる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標を持って学習できる。</li> <li>・基礎・基本を身につけられるように、スモールステップで学習が積み上げられるような配列になっている。また、季節感や学校行事を考慮した題材の設定と配列になっている。</li> <li>・長期休業中に取り組める事例として「チャレンジコーナー」を学期のまとめりに配置し、環境・防災・伝統などについて調べたり実践したりできる事例が掲載されている。</li> <li>・小学校での学びが発展した中学校での学習イメージが掲載されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して最後に「ふり返ろう」で家庭での実践につながるようになっている。</li> <li>・導入時や学習過程で「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」等が配置されており、対話的で深い学びが展開されるような流れになっている。</li> <li>・兵庫県に関しては、岩津ネギ、淡路のタマネギ等特色ある食材が取り上げられている。</li> <li>・防災に関する内容については、災害時にどのように行動するか等、衣食住の観点から掲載されている。</li> <li>・身の回りにある電化製品のプログラミングについて紹介されている。</li> </ul> |   |      |     |

## 教科名（保健）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。</li> <li>・学習課題を見つける活動が1ページでまとまっており、児童の気づきが大切にされている。</li> <li>・紙面の色数が限定され、フォントや構成も工夫され落ち着いたレイアウトとなっている。活動は罫線で囲んであるため、本文と明確に区別できる。</li> <li>・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の配列は、他社と比べて相違ない。</li> <li>・教科書の分量、内容ごとに取り扱うページ数は5社の中で一番多い。</li> <li>・他教科との関連が表記されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。</li> <li>・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動が統一されている。</li> <li>・防災に関連した内容については、中・高学年で取り上げられ、資料数ページ数は比較的多い。</li> <li>・5・6年生の教科書では兵庫県に関する内容が5件取り上げられている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（保健）

|  |   |      |       |
|--|---|------|-------|
| 発行者番号  | 4 | 発行者名 | 大日本図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」の学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。</li> <li>・章の終わりに、ふり返りのためのページが設定されている。</li> <li>・本文や吹き出しなど全面にユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の配列は、他社と比べて相違ない。</li> <li>・分量は、資料や知識が過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選されている。</li> <li>・他教科との関連について表記されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の保健領域に記載された項目が全て取り上げられている。</li> <li>・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。</li> <li>・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動が統一されている。</li> <li>・防災に関連した内容については、中学年では取り上げられていない。</li> <li>・5・6年生の教科書では兵庫県に関する内容が2件取り上げられている。</li> </ul> |   |      |       |

## 教科名（保健）

|   |     |      |     |
|---|-----|------|-----|
| 発行者番号   | 207 | 発行者名 | 文教社 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」「話し合おう」「生かそう・伝えよう」の学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。</li> <li>・学習課題が明記され、見開き1ページが1時間の内容となっている。</li> <li>・標準的な教科書体を使用され誰でも見やすいようにカラーユニバーサルデザインの配慮が見られる。</li> <li>・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。</li> <li>・学習の意まとめやふり返りのためのページがない。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の配列は、他社に比べて相違はない。</li> <li>・他社と比べてページ数が一番少ない。</li> <li>・内容ごとに取り扱うページ数が少ないため、1ページの情報量が多い。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。</li> <li>・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動がほぼ統一されている。</li> <li>・防災に関連した内容については、中学年ではなく高学年で資料が多く取り上げられている。</li> <li>・兵庫県に関する内容は取り上げられていない。</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（保健）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 208 | 発行者名 | 光文書院 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう・伝えよう」の学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。</li> <li>・各章末に「学習のまとめ」が設けられ、単元をふり返るためのページがある。</li> <li>・重要な事項は太字や色文字にするなど、カラーユニバーサルデザインへの配慮が見られる。</li> <li>・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の配列は、他社と比べて相違ない。</li> <li>・各内容の分量がバランスよく配置されている。</li> <li>・他社と比較して、分量は多い。1ページあたりの文字数が多く、情報量が多い。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。</li> <li>・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動がほぼ統一されている。</li> <li>・防災に関連した内容については、中学年ではなく高学年で取り上げられているが、他社と比べて掲載されている資料は少ない。</li> <li>・兵庫県に関する内容は取り上げられていない。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（保健）

|  |     |      |         |
|--|-----|------|---------|
| 発行者番号  | 224 | 発行者名 | 学研教育みらい |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかむ」「考える・調べる」「考える・話し合う」「まとめる・深める」などの学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。</li> <li>・話し合う活動では、ペア学習や3名以上の学び合いなど協働学習の方法が示されている。</li> <li>・各章末に学習のまとめが設けられ、知識の定着と生活への活用を意識した構成になっている。</li> <li>・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の配列は、他社と比べて相違ない。</li> <li>・分量は、5社で平均的なページ数である。</li> <li>・1単位時間見開き2ページで構成され、児童が見通しを持って学習できるよう配慮している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。</li> <li>・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動が統一されている。</li> <li>・防災に関連した内容については、中・高学年で取り上げられている。掲載されている資料は他社と比較して多いといえる。</li> <li>・5・6年生の教科書では兵庫県に関する写真が4件取り上げられている。</li> </ul> |     |      |         |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|   |   |      |      |
|---|---|------|------|
| 発行者番号   | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を育成するために、他者に配慮し、目的・場面・状況を意識した言語活動を「読むこと」「書くこと」を含めて楽しく学習できる。</li> <li>・各単元内の活動を簡単な言語材料と児童の身近な場面で精緻に組み立て、Small Talkなどで繰り返し使って、中学校につなぐ確かな力を育てることができる。</li> <li>・単元のまとまりごとに振り返りのページが設定してあり、CAN-DO リストも活用しながら、つまずいた時に振り返ることができる工夫がある。</li> <li>・文部科学省教材「Let's Try!」や「We Can!」の指導内容を抛り所に、あらゆる「学び方」の選択肢が用意されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生では、自分・地域・日本、6年生では、世界や将来をテーマとした学習内容の構成である。</li> <li>・全ての単元（Unit）が4パート構成で統一され、目標（ゴール）が明示されており、授業の流れやポイントが児童や指導者にとって分かりやすい。また、学期の終わりには、複数の単元での学習内容を活用して行う活動が設定されている。これらにより、学びのプロセスが明確である。</li> <li>・音声のインプットを中心とした活動から、アウトプットを中心とした活動という構成である。</li> <li>・5年生、6年生ともに、8単元の構成である。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能5領域について、段階を追って2年間でバランス良く配列されている。</li> <li>・各単元が「聞く→話す→読む・書く」という言語獲得の自然な流れの構成である。</li> <li>・扱う技能がアイコンで児童に分かりやすく明示されている。</li> <li>・場面設定に必然性があり、魅力ある主体的な課題で他者との学びが実現されやすい。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|   |   |      |     |
|---|---|------|-----|
| 発行者番号   | 9 | 発行者名 | 開隆堂 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットになる英語表現を使った活動を段階的に繰り返し設定し、無理なくアウトプット活動ができるように構成され、1ページにつき1時間という配當時数となっている。</li> <li>必ず友だち同士で話し合えるようにペアワークやグループワークが設けられている。児童が主体的かつ自律的に、英語を使って物事を考えられるよう工夫されている。</li> <li>中学校との連携を考慮し、音と文字の関係や書く時の基礎的なルールを段階的かつ系統的に丁寧に学習することができる。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年生は「身近な社会とのかかわり」、6年生は「世界とのかかわり」をテーマとした内容が配列されている。</li> <li>8つの単元と「文字に慣れよう」とが分けてまとめられている。各単元は、基本的に1ページ45分単位で、「文字に慣れよう」はそれぞれ3つずつの活動で構成されている。</li> <li>既習内容をスパイラルに学習できるよう工夫されており、重要な表現は自然に繰り返し学習ができるようにされている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4技能5領域については、聞くことにやや重点が置かれて、その他の活動がやや少ない。</li> <li>「書くこと」は、教科書の後半で体系的に独立してまとめている。</li> <li>単元ごとに、他者と対話する活動が設定されている。</li> <li>文字に慣れる活動で、短時間学習に対応できる構成である。</li> </ul> |   |      |     |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|   |     |      |      |
|---|-----|------|------|
| 発行者番号   | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何気ない日常や生活を題材に様々な場面の交流を通して、身近で楽しいストーリーの中で、コミュニケーションを図れるよう工夫されている。</li> <li>・ できる限り耳からのインプットを増やすことによって児童の気づきを生み、英語を使いながら身に付けていく帰納的な学びが取り入れられている。</li> <li>・ 4技能5領域すべてを身に付けるため、楽しく音声を中心に英語に慣れ親しむことに加えて、今後の英語学習の基礎を作り、学びのつながりを重視している。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生では外国語のことを知ること、6年生では日本のことを発信することが目標となっている。</li> <li>・ 5年生ではインプットを中心とした活動が、6年生ではアウトプットの機会が多く設定されている。</li> <li>・ 1つの活動を15分で学習する構成である。各学校が実態に応じて柔軟に対応できるようになっている。</li> <li>・ 各単元（Lesson）のはじめには単元目標と学習の進め方、各セクションの目標表現が明示されている。また、各単元の終わりにはまとめとしての活動や自己評価を行う機会が設けられている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4技能5領域の活動数は、7社のうちで3番目である。また、分かりやすいアイコンで明示されている。</li> <li>・ 学習した表現や語彙が他教科と関連づけられ、学びの深まりが期待できる。</li> <li>・ 児童が語彙や表現を推測しやすいように、イラストが多用されている。</li> <li>・ 各活動が15分で構成されている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|  |     |      |     |
|--|-----|------|-----|
| 発行者番号  | 1 5 | 発行者名 | 三省堂 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的・協働的に学ぶ力を育成するために、学びのプロセスを「見える化」して、見通し→習得→活用の流れがスムーズになっている。</li> <li>・ ことばを使う力を育てるために、インプットからアウトプットへ基礎的な英語力を育成する工夫がなされている。</li> <li>・ 考える力を育て、目的・場面・状況に応じたコミュニケーションを図る力を育成できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生では、自分、身の回りのこと、身近な人、ふだんの生活、日本を扱い、6年生では、自分たち、過去、将来、世界を扱っている。</li> <li>・ 指導時間として、5年生 65 時間、6年生 64 時間で設定されており、単元によって弾力的に運用できる構成となっている。</li> <li>・ 各学年は、7つの単元（Lesson）で構成され、なおかつ学年に3つの大単元を設定し、それぞれに3種類の小単元（HOP, STEP, JUMP）が配置されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4技能5領域の活動数は、7社のうち5番目である。各学年で、バランス良く配列されている。</li> <li>・ 目的や状況などの場面設定が明確である。外国語の見方・考え方を働かせやすい。</li> <li>・ 各単元にペアワーク、グループワークが設定され、他者との学びが豊かな構成である。</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自ら考え、楽しみながら積極的に自己表現に取り組めるような単元目標が設定され、児童の心の動きを大切にしたい楽しい活動がおこなえるよう工夫されている。</li> <li>・日本語と英語との違いやアルファベットの音への気づきを促す活動を設定し、無理なくアルファベットの音にふれることができるようになっている。</li> <li>・語順について気づかせる活動を設置し、中学校での構文の学習へとつながる活動が配置されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材内容は、クラス内での自己紹介、学校や地域、国内、海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくように構成されている。</li> <li>・各学年9つの単元（Lesson）で、各単元を約7時間計画で配分されている。</li> <li>・5年生は67時間、6年生は65時間となっており、習得した内容を活用させる時間が考慮されている。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能5領域の活動数は、7社のうちで最も少ない。</li> <li>・実際の場面、魅力ある場面、他者との関わり合いのある場面が意図的に設定されている。</li> <li>・「英語でできるようにになりたいこと」の記入欄が、より主体的な学びにつながる。</li> <li>・単元末の「ふりかえり」欄で、CAN-DO形式で自己評価できる。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（外国語〈英語〉）

|  |    |      |      |
|--|----|------|------|
| 発行者番号  | 38 | 発行者名 | 光村図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年のはじめにやるべきことが一目でわかるようにし、安心して楽しく無理なく英語に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・着実に力がつけられるよう、学習の手順をスモールステップで目に見えるようにし、授業がスムーズに進められるようになっている。</li> <li>・関連する教材や付録などコンテンツを豊富に用意し、さまざまな学習ニーズに対応でき、学びを広げられるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生6年生を通して、教科書が一貫したストーリーになっている。</li> <li>・各学年の巻頭で、「教科書の使い方」、「できるようになること（CAN-DO）」を示し、児童が学習の仕方を理解し、主体的に学習を進めることを図っている。</li> <li>・各9つの単元（Unit）を設けて、各単元はHop!、Step1、Step2、Jump!という構成になっている。</li> <li>・教科書で触れる語彙を、721語に設定している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能5領域の活動数は、7社のうちで6番目の少なさである。</li> <li>・場面設定や目標表示が工夫され、協働学習の設定で他者と関わりながら学習ができる。</li> <li>・十分なインプットの後に、アウトプット場面が文字→単語→語句→文と段階を踏んで設定されている。</li> <li>・単元末に、次の学習に活かすことができる振り返りが設定されている。</li> <li>・短時間学習に対応する活動は、マーキングされている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（ 外国語〈英語〉 ）

|   |     |      |     |
|---|-----|------|-----|
| 発行者番号   | 6 1 | 発行者名 | 啓林館 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な言語活動を通して、英語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身につけられるよう工夫されている。</li> <li>・ 児童が臨場感を持って主体的に学習が進められるような設定がされている。</li> <li>・ 既習の用語や表現に何度も接しながら学習した内容の定着を図り、後の学習でもいろいろな場面で学ぶことができるよう配慮がなされている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生では主に自分の身近なことや知っていることを表現する内容で、6年生では身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったりしながら学習する内容となっている。</li> <li>・ 年間指導時数は、各学年 64 時間となっている。必要に応じて、個に応じた活動や読み物教材等を扱うことが可能である。</li> <li>・ 各単元（Unit）の目標を明示し、その目標に向けたスモールステップのめあてを各 Part に設定している。巻末には、CAN-DO リストがある。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 技能 5 領域の活動数は、7 社のうちで 2 番目の多さである。</li> <li>・ 各活動が分かりやすいアイコンで表示されている。</li> <li>・ 児童の身近な話題が場面設定で取り上げられており、興味・関心を高める工夫がある。</li> <li>・ 児童同士が考えを共有し、聞き合える機会が設定されている。</li> <li>・ 演習や活動にモジュールマークが付けられ、指導しやすいように工夫されている。</li> </ul> |     |      |     |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |   |      |      |
|--|---|------|------|
| 発行者番号  | 2 | 発行者名 | 東京書籍 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の冒頭に考えるポイントを示して教材解釈の焦点化を図っている。</li> <li>・体験活動との関連も図れるように教材の内容を工夫している。</li> <li>・問題を見つけて考える教材、身近な生活場面から問題解決的な学習ができる教材を工夫している。</li> <li>・活動型教材で子どもたちの多様な考え方を引き出し、道徳的価値の追求を図っている。</li> <li>・A4判を縦に小さくしたA5判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめを生まない土壌づくりについて、直接的教材と間接的教材をセットで配列している。</li> <li>・情報に関する内容の教材で、掲載のない学年がある。</li> <li>・重点内容項目を複数配置し、繰り返して指導できる配列である。</li> <li>・35教材を設け、年間35時間分を保障している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題の教材では、発達段階に応じた内容に配慮し、直接的・間接的に扱っている。</li> <li>・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的・多角的に考え議論できるような工夫がある。</li> <li>・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・兵庫に関して取り上げている教材があるのは、4年生と6年生である。</li> <li>・防災については2年生以上で、阪神淡路大震災や東日本大震災、東京大空襲等を取り上げている。</li> </ul> |   |      |      |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 1 1 | 発行者名 | 学校図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読本としての「よみもの」版と書き込みを促す「かつどう」版の2部構成である。</li> <li>・ 「よみもの」の主題でねらいを確認し、「かつどう」の発問で考えを深める構成である。</li> <li>・ 多様な見方や考え方に触れ、多面的で多角的に考える力の育成に配慮している。</li> <li>・ 防災や情報に関する現代的な課題について、身近なものを話題にあげて実践力の醸成を図っている。</li> <li>・ A4判縦に小さくしたA B判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「よみもの」と「かつどう」の2部構成で、考え議論する教材配列である。</li> <li>・ 防災や情報に関する教材を全学年で配置している。</li> <li>・ いじめに向き合う心を育てるために、学級経営の理念に基づいた配列である。</li> <li>・ 35教材を設け、年間35時間分を保障している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ問題では、関連する教材を発達段階に応じて、年間を通して計画的に配列している。</li> <li>・ 役割演技や疑似体験的な表現活動で体験的な学習を進める工夫がある。</li> <li>・ 食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・ 防災については、4年生以上で、東日本大震災や関東大震災等を取り上げている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（ 道徳 ）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 17 | 発行者名 | 教育出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の末尾に「学びの手引き」を設け、問題解決的な学習、体験的な学習等により、児童が自ら考え、対話を通して考えを深められるよう工夫されている。</li> <li>・読み物教材にも役割演技を入れて体験的活動を工夫している。</li> <li>・文字のフォントや紙面のデザイン・イラストがユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>・A4判を縦に小さくしたAB判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の中で、考え議論する時間が十分にとれるよう、1教材あたりの文章量を少なくしている。</li> <li>・情報に関する内容の教材を全学年に配置している。</li> <li>・人物についての教材は、調査対象中最多の配列である。</li> <li>・コラムの扱いは、6年生以外では記載がない。</li> <li>・教材を内容項目ごとにまとめて配列し、連続して学習することで、道徳的価値についての理解を深められるよう工夫している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題では、発達段階に応じた内容に配慮し、直接的・間接的に扱っている。</li> <li>・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的・多角的に考え議論できるような工夫がある。</li> <li>・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・兵庫に関して取り上げている教材は、5年生の姫路城であるが、補充教材である。</li> <li>・防災については、2年生と4年生以上で、東日本大震災等を取り上げている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（ 道徳 ）

|   |    |      |      |
|---|----|------|------|
| 発行者番号   | 38 | 発行者名 | 光村図書 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が本気で考え、議論することができるよう、1つ1つの教材に細かい配慮がなされている。</li> <li>・児童が身近に感じられるような設定で、自分自身で判断し行動につなげる問題解決的な学習が取り入れられている。</li> <li>・授業で考えたことを日常生活や他教科・領域等とつなげる配慮がなされている。</li> <li>・めあてを通して、主体的に学ぶ姿勢を促し、対話を通して深い学びにつながる問いの工夫がある。</li> <li>・B5変形判になり、調査対象中最小サイズのB5判のコンパクトさを堅持しつつ、見やすい紙面になっている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を3つのまとまりに分け、視点の焦点化を図った配列である。</li> <li>・道徳の授業で学ぶことや学んだことをはっきりと自覚できる工夫がある。</li> <li>・よびかけや教材、コラムを組み合わせ、内容項目から考えたことを現代的な課題として見つめる配列がなされている。</li> <li>・いじめに関する内容が1年を通して多面的・多角的に意識し続けることができるよう、バランスよく配置されている。</li> <li>・35教材を設け、年間35時間分を保障している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題では、複数の教材のセットでじっくり考えたり、具体的な活動を促すSST（ソーシャルスキルトレーニング）を全学年に設けたりしている。</li> <li>・役割演技の手立てを全学年に位置づけ、体験的な学習を進める工夫がある。</li> <li>・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・兵庫に関して取り上げている教材は、3年生以上で、播州そろばんと阪神淡路大震災である。</li> <li>・防災については、4年生以上で阪神淡路大震災や東日本大震災、関東大震災等を取り上げている。</li> </ul> |    |      |      |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |       |      |        |
|--|-------|------|--------|
| 発行者番号  | 1 1 6 | 発行者名 | 日本文教出版 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の考えを引き出す3つの発問が導入と末尾にあり、学びに見通しが持てる。</li> <li>・ 別冊に道徳ノートが付き、成長の記録や評価に活用できる。</li> <li>・ いじめ防止、安全の確保、情報モラル、社会の持続可能な発展、伝統文化・国際理解教育の5観点を重点にしている。</li> <li>・ A4判を縦に小さくしたA B判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめを直接的に扱う教材」「いじめを間接的に扱う教材」「いじめ防止に関するコラム」を1つのセットとして、年間3回配置している。</li> <li>・ 情報に関する内容の教材を全学年で配置している。</li> <li>・ 35教材を設け、年間35時間分を保障している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的で多角的に考え議論できる工夫がある。</li> <li>・ ゲームや役割演技などの表現活動で体験的な学習を進める工夫がある。</li> <li>・ 食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・ 兵庫に関して取り上げている教材は、3年生以上で阪神淡路大震災と姫路城である。</li> <li>・ 防災については、阪神淡路大震災や東日本大震災等を取り上げている。</li> </ul> |       |      |        |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |     |      |      |
|--|-----|------|------|
| 発行者番号  | 208 | 発行者名 | 光文書院 |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容項目に迫るための主題や発問が導入部分にあり、末尾にまとめや広がりをもつ発問がある。</li> <li>・ 学びへの見通しを持たせ、児童が主体的に学習するための工夫がある。</li> <li>・ 巻末に学習をふり返るスペースがあり、成長の記録や評価に活用できる。</li> <li>・ 他教科や家庭・地域での生活へ学びを広げる工夫がある。</li> <li>・ 調査対象中最大サイズのA4判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年に応じて重点項目を置き、複数時間構成で多面的・多角的に考えられるよう配慮している。</li> <li>・ 情報モラルをはじめ、現代的な課題を考えられる教材を多く掲載している。</li> <li>・ 35教材以上を設け、年間35時間分を保障している。(付録教材5教材)</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ問題では、発達段階に応じた内容に配慮し、いじめを直接的・間接的に多数扱っている。</li> <li>・ 言語活動や体験的な活動を通して、考えを深める工夫がある。</li> <li>・ 食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・ 兵庫に関して取り上げている教材は、5年生だけで、復興に向けた兵庫県のコメントである。</li> <li>・ 防災については、3年生以上で、東日本大震災等を取り上げている。</li> </ul> |     |      |      |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |     |      |         |
|--|-----|------|---------|
| 発行者番号  | 224 | 発行者名 | 学研教育みらい |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主題名を後に記載し、児童の主体的な学び、自ら課題を見つける問題意識を大切にしている。</li> <li>・ 4種類の「学び方の特設ページ」を設定し、多面的・多角的に考えるための工夫がされている。</li> <li>・ 調査対象中最大サイズのA4判である。</li> <li>・ 重点項目を設定し、教材数の充実や異なる内容項目との組み合わせなど、「広く深い学び」の工夫をしている。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間を通したストーリー性のある配列で、主体的な学びへの意欲を高めている。</li> <li>・ A4判の紙面を使い、豊かなビジュアルを使った表現がされている。</li> <li>・ 35教材を設け、年間35時間分を保障している。</li> <li>・ 情報モラルを含め、現代的な課題について対応している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ防止に繋がる教材は、様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるよう配置している。</li> <li>・ 児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的・多角的に考え議論できるような工夫がある。</li> <li>・ 食文化や地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・ 兵庫に関して3年生以上で取り上げている。</li> <li>・ 防災について、阪神淡路大震災や東日本大震災等を全学年で取り上げている。</li> </ul> |     |      |         |

## 教科名（ 道徳 ）

|  |     |      |         |
|--|-----|------|---------|
| 発行者番号  | 232 | 発行者名 | 廣濟堂あかつき |
| <p><b>【教科書の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入部分での内容項目の扱いは、発達段階に応じて文言が異なり、教材の効果的な活用を図っている。</li> <li>・別冊を設けて、ふり返りや評価に活用できる。</li> <li>・心を揺さぶる名作・感動教材を大切にしている。</li> <li>・「問題解決的な学習を促す教材」や役割演技・動作化など、「体験的な学習を促す教材」を多く掲載している。</li> <li>・A4判を縦に小さくしたA5判である。</li> </ul> <p><b>【内容の配列と分量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの重点内容について、全学年各3時間・3教材を配当し、重点化のため一部は2時間連続で配列している。</li> <li>・本冊と別冊、2冊の相乗効果で豊かな自己の形成をめざしている。</li> <li>・情報モラルをはじめ、現代的な課題を考えられる教材を多く掲載している。</li> <li>・35時間を設け、年間35時間分を保障している。</li> </ul> <p><b>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題では、発達段階に応じた内容に配慮し、直接的な教材は高学年にしぼられている。</li> <li>・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的で多角的に考え議論できるような工夫がある。</li> <li>・年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。</li> <li>・兵庫に関して取り上げている教材は、3、4、6年生で、阪神淡路大震災と竹田城跡である。</li> <li>・防災については3年生以上で、阪神淡路大震災や東日本大震災等を取り上げている。</li> </ul> |     |      |         |